



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 セブンスー・テックワークス株式会社
コード番号 2338 URL <http://www.sstw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 川嶋 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 村山 雅経

TEL 03-5225-9889

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	1,806	11.7	△132	—	△135	—	△91	—
22年2月期第2四半期	1,616	—	△58	—	△86	—	78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	△3,200.38	—
22年2月期第2四半期	2,745.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	3,487	1,955	40.6	49,847.62
22年2月期	3,550	2,042	42.4	52,881.56

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 1,417百万円 22年2月期 1,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,340	20.2	20	—	40	—	△15	—	△527.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 28,825株 22年2月期 28,825株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 384株 22年2月期 384株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 28,441株 22年2月期2Q 28,492株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料の一部については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年10月18日（月）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済対策効果などを背景に一部景気に回復の兆しが見られるものの、個人消費の増加も微少であり、雇用の低迷による失業率の増加など厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、システムソリューション事業におきましては、スマートフォン向けのアプリ開発を中心としたモバイルサービスの拡充を行い、サービスの充実に取り組んでおります。またメディアソリューション事業では、新規開拓の向上を目指し、顧客のニーズ及び消費動向の変化に対応し、広告需要を着実に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高1,806百万円（前年同期比11.7%増）、営業損失132百万円（前年同期は58百万円の営業損失）となりました。経常損益につきましては、円高の影響を受け為替差損が19百万円になったことにより、経常損失135百万円（前年同期は86百万円の経常損失）となり、四半期純損失は91百万円（前年同期は78百万円の四半期純利益）となりました。

事業区分別の売上高は、以下のとおりであります。

（システムソリューション事業）

当事業におきましては、スマートフォンアプリの開発が堅調に進み、新規顧客の開拓も堅調に進んでいるため、売上に対する比重も増えてきております。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は215百万円（前年同期比42.5%増）、売上構成比は11.9%となりました。

（メディアソリューション事業）

当事業におきましては、一般に広告宣伝費を抑制する傾向が続いておりますが、独自のマーケティングにより顧客のニーズ及び消費動向の変化に対応し、広告需要を着実に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,591百万円（前年同期比17.2%増）、売上構成比は88.1%となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて349百万円減少し、2,268百万円となりました。これは、関係会社短期貸付金が関係会社長期貸付金に移行したことも含め428百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて286百万円増加し、1,219百万円となりました。これは、関係会社長期貸付金が414百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、3,487百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加し、1,207百万円となりました。これは、賞与引当金が18百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、325百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が9百万円増加したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて87百万円減少し、1,955百万円となりました。これは、利益剰余金が91百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度の期末残高に比べて22百万円減少し、551百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は131百万円（前年同期は24百万円の減少）となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、増加した資金は109百万円（前年同期は635百万円の増加）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増減した資金はありませんでした（前年同期は3百万円の減少）。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想につきましては、本日（平成22年10月15日）発表いたしました「業績予想の修正および営業外費用計上に関するお知らせ」において連結業績予想、個別業績予想を修正しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,303,900	1,560,149
受取手形及び売掛金	325,650	257,006
商品及び製品	32,296	32,355
仕掛品	4,943	7,697
関係会社短期貸付金	186,000	614,404
繰延税金資産	14,256	7,331
その他	411,582	160,168
貸倒引当金	△10,102	△21,190
流動資産合計	2,268,527	2,617,923
固定資産		
有形固定資産	3,323	37,846
無形固定資産		
のれん	312,866	354,582
その他	50,828	51,093
無形固定資産合計	363,694	405,676
投資その他の資産		
投資有価証券	55,333	61,138
長期貸付金	298,097	315,372
関係会社長期貸付金	414,000	—
繰延税金資産	14,686	24,419
その他	78,717	108,040
貸倒引当金	△8,655	△19,949
投資その他の資産合計	852,178	489,021
固定資産合計	1,219,196	932,544
資産合計	3,487,723	3,550,467
負債の部		
流動負債		
買掛金	281,800	271,169
短期借入金	830,000	830,000
未払法人税等	2,418	2,413
賞与引当金	18,480	—
その他	74,625	91,084
流動負債合計	1,207,324	1,194,667
固定負債		
退職給付引当金	8,208	5,469
役員退職慰労引当金	311,666	302,600
その他	5,443	5,443
固定負債合計	325,317	313,512

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債合計	1,532,642	1,508,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,800	983,800
資本剰余金	774,915	774,915
利益剰余金	△277,824	△186,802
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	1,421,896	1,512,918
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,180	△8,913
評価・換算差額等合計	△4,180	△8,913
少数株主持分	537,365	538,282
純資産合計	1,955,081	2,042,286
負債純資産合計	3,487,723	3,550,467

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,616,759	1,806,574
売上原価	1,402,280	1,581,859
売上総利益	214,478	224,715
販売費及び一般管理費	272,763	357,358
営業損失(△)	△58,285	△132,643
営業外収益		
受取利息	11,909	19,743
受取配当金	911	1,189
その他	2,739	8,452
営業外収益合計	15,560	29,385
営業外費用		
支払利息	15,729	6,090
為替差損	28,177	19,180
その他	206	7,343
営業外費用合計	44,114	32,615
経常損失(△)	△86,838	△135,872
特別利益		
固定資産売却益	—	1,227
関係会社株式売却益	183,946	—
保険解約返戻金	—	57,884
特別利益合計	183,946	59,111
特別損失		
固定資産除却損	47	—
投資有価証券評価損	—	5,845
特別損失合計	47	5,845
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	97,060	△82,606
法人税、住民税及び事業税	16,034	6,268
法人税等調整額	△8,493	1,507
法人税等合計	7,540	7,775
少数株主利益	11,288	639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,230	△91,021

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,448,528	916,137
売上原価	1,300,433	808,475
売上総利益	148,094	107,661
販売費及び一般管理費	187,642	170,197
営業損失(△)	△39,547	△62,535
営業外収益		
受取利息	10,431	8,836
受取配当金	911	1,127
その他	2,692	4,803
営業外収益合計	14,035	14,767
営業外費用		
支払利息	3,596	2,967
為替差損	15,948	26,218
その他	183	1,906
営業外費用合計	19,729	31,092
経常損失(△)	△45,240	△78,861
特別利益		
固定資産売却益	—	1,227
特別利益合計	—	1,227
特別損失		
固定資産除却損	47	—
投資有価証券評価損	—	5,845
特別損失合計	47	5,845
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,288	△83,479
法人税、住民税及び事業税	15,816	470
法人税等調整額	△8,493	△9,299
法人税等合計	7,323	△8,829
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11,288	△4,045
四半期純損失(△)	△63,900	△70,604

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	97,060	△82,606
減価償却費	15,047	1,503
のれん償却額	41,369	41,715
為替差損益(△は益)	27,253	18,259
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,575	△22,381
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,158	18,480
退職給付引当金の増減額(△は減少)	441	2,739
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,532	9,065
受取利息及び受取配当金	△12,820	△20,932
支払利息	15,729	6,090
関係会社株式売却損益(△は益)	△183,946	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,845
有形固定資産除売却損益(△は益)	47	△1,227
保険解約返戻金	—	△57,884
売上債権の増減額(△は増加)	103,867	△68,643
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,576	2,813
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,067	10,631
その他	△84,259	△10,759
小計	△38,587	△147,290
利息及び配当金の受取額	12,820	10,530
利息の支払額	△15,437	△5,923
法人税等の還付額	17,884	11,824
法人税等の支払額	△932	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,252	△131,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,842	△122,183
定期預金の払戻による収入	30,180	356,396
有形固定資産の取得による支出	△3,016	—
有形固定資産の売却による収入	—	1,332
保険解約による収入	—	113,220
関係会社株式の取得による支出	△195,819	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	101,412	—
債権譲渡による収入	841,301	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△100,000	—
貸付けによる支出	—	△250,000
貸付金の回収による収入	—	14,945
その他	—	△3,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	635,216	109,794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,212	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,212	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,248	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	610,000	△22,036
現金及び現金同等物の期首残高	305,664	574,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	915,664	551,986

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません

(5) セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	システムソリューション事業 (千円)	メディアソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	90,887	1,357,640	1,448,528	—	1,448,528
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	90,887	1,357,640	1,448,528	—	1,448,528
営業利益(又は営業損失△)	5,806	△12,559	△6,752	(32,794)	△39,547

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、事業の種類の種類性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な役務提供内容

事業区分	主要サービス
システムソリューション事業	コンサルティング、システムインテグレーション、ソフトウェア開発、ソフトウェアプロダクト販売
メディアソリューション事業	広告業務取扱いおよび広告表現に関する企画・制作

3. セグメント別資産の著しい金額の変動

第1四半期連結会計期間末において、当社の連結子会社であったDR Fortress, LLCのユニットを譲渡したことにより同社が行っていたデータセンター事業の資産が、前連結会計年度末比1,421,388千円減少しております。また株式会社ピーアール・ライフの株式を取得し、新たにメディアソリューション事業を新設したことにより、同事業の資産が前連結会計年度末比3,030,098千円増加しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間末に、メディアソリューション事業を行っている株式会社ピーアール・ライフを連結の範囲に含めたため、当該事業を新たな事業の種類別セグメントとしております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	システムソリューション事業 (千円)	メディアソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	136,732	779,404	916,137	—	916,137
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	136,732	779,404	916,137	—	916,137
営業利益(又は営業損失△)	8,817	△46,011	△37,194	(25,341)	△62,535

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、事業の種類の種類性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な役務提供内容

事業区分	主要サービス
システムソリューション事業	コンサルティング、システムインテグレーション、ソフトウェア開発、ソフトウェアプロダクト販売
メディアソリューション事業	広告業務取扱いおよび広告表現に関する企画・制作

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	システムソリューション事業 (千円)	メディアソリューション事業 (千円)	データセンター事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	151,275	1,357,640	107,843	1,616,759	—	1,616,759
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	151,275	1,357,640	107,843	1,616,759	—	1,616,759
営業利益(又は営業損失△)	7,043	△10,984	14,777	10,836	(69,121)	△58,285

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、事業の種類の種類性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な役務提供内容

事業区分	主要サービス
システムソリューション事業	コンサルティング、システムインテグレーション ソフトウェア開発、ソフトウェアプロダクト販売
メディアソリューション事業	広告業務取扱いおよび広告表現に関する企画・制作
データセンター事業	データセンター運営

3. セグメント別資産の著しい金額の変動

第1四半期連結会計期間末において、当社の連結子会社であったDR Fortress, LLCのユニットを譲渡したことにより当社が行っていたデータセンター事業の資産が、前連結会計年度末比1,421,388千円減少しております。また株式会社ピーアール・ライフの株式を取得し、新たにメディアソリューション事業を新設したことにより、同事業の資産が前連結会計年度末比3,030,098千円増加しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間末に、メディアソリューション事業を行っている株式会社ピーアール・ライフを連結の範囲に含めたため、当該事業を新たな事業の種類別セグメントとしております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	システムソリューション事業 (千円)	メディアソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	215,539	1,591,035	1,806,574	—	1,806,574
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	215,539	1,591,035	1,806,574	—	1,806,574
営業利益(又は営業損失△)	12,310	△87,088	△74,777	(57,865)	△132,643

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、事業の種類の種類性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な役務提供内容

事業区分	主要サービス
システムソリューション事業	コンサルティング、システムインテグレーション、 ソフトウェア開発、ソフトウェアプロダクト販売
メディアソリューション事業	広告業務取扱いおよび広告表現に関する企画・制作

(追加情報)

前第1四半期連結会計期間末に、データセンター事業を行っているDR Fortress, LLCを連結の範囲から除外したため、当第2四半期連結累計期間には記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)並びに当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)並びに当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。